

令和7年10月28日開催

令和7年度住之江区運営方針の進捗状況と 今後の方針性について 【はぐくみ・教育部会】

経営課題1 【子どもたちの未来のために】

めざす成果及び戦略

- | | |
|---------------------------------|----|
| 1-1 【安心して子育てができる、子どもたちが笑顔で育つまち】 | …4 |
| 1-2 【子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち】 | …8 |



経営課題1 子どもたちの未来のために

令和7年10月28日開催

1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち

将来像

すべての子どもが誰一人取りこぼされることなく必要な支援を受けられる状態

課題

こどもサポートネットの充実、子育て世帯への切れ目のない見守り環境の整備



△ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組1-1-1】 支援が必要な児童、生徒への取組

取組

児童や保護者のニーズに合わせた必要なサポートを関係機関と連携し実施

<課題>支援にあたり保護者の同意を得られず、サービス等の利用につながらないケースがある。

<方向性>児童や保護者ニーズの把握とNPO法人等関係機関との連携強化を図る。

P5

【具体的取組1-1-2】 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

取組

子育て支援室・地域保健活動担当を中心に妊娠期から就学まで切れ目のない支援、大阪市版ネウボラやこどもサポートネット等状況に応じた支援の提案

<課題>子育てに関する情報が入手しやすくなるよう取組をすすめる必要がある。

<方向性>引き続き、子育ての情報や相談の機会をホームページやSNS、広報紙等を通じて効果的に発信する。

P6

1-2 子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち

将来像

子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態

課題

学習意欲の向上に向け、学校や関係機関等との更なる連携

△ この将来像に向けて2つの取組を進めています



P9

【具体的取組1-2-1】 児童、生徒の学力向上に向けた取組

取組

少人数体制での理解度等に合わせた学習支援、放課後の課外授業の実施

<課題>基礎学力アップ事業の参加者数増加に向け、さらなる周知の必要がある。

<方向性>効果的な周知方法等を検討し、学校及び事業者との連携強化に努める。

【具体的取組1-2-2】 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

取組

未来に向かって挑戦する力や解決していく力を育む授業プログラム等の実施

<課題>より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。

<方向性>学校の授業の一環としても実施できないか、学校や事業者など関係先との連携を図りながら検討していく。

P10

令和7年度 住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる
「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

区の使命(どのような役割を担うのか)

計

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～
区民の視点に立った区役所サービスの提供
まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～
官民連携の強化による地域課題の解決
区政情報・区の魅力の効果的な発信

令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができる、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

経営課題1 子どもたちの未来のために

【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10～20年間を念頭に設定〉

未来の担い手であるすべての子どもが、家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくよう、区民がより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現をめざす。

課題

【安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】

- 本人や家庭への支援が必要な児童・生徒に対し、こどもサポートネット事業の充実など、社会全体で支える仕組みを強化するとともに、周囲の目が行き届きにくい就学前の子育て世帯に対しては、切れ目のない相談やサポートが可能となるよう、見守り環境の整備を進める必要がある。
- 子育てに関する様々な支援や相談窓口、交流の場の機能充実を図るとともに、これらに関する情報が、直接子育て世帯に分かりやすく効果的に伝わるよう、関係機関との連携やすみのえ情報局やSNS等の活用など、情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。

【子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち】

- 放課後等を活用した学習の場の提供や学習意欲の向上、学習習慣を身に付けるための支援など、児童・生徒の学力向上に向けた取組を充実する必要がある。
- 子どもたちが自分で未来を切り拓いていけるよう、将来に向かって自ら挑戦する精神や課題を解決する力を身につけたり、学習目的を見つけたりすることができる機会を提供していく必要がある。

経営課題1 子どもたちの未来のために

【めざす成果及び戦略1－1】

安心して子育てができる、子どもたちが笑顔で育つまち

めざす状態

【令和7～11年度の5年間】

区役所、学校等各関係機関と地域や民間の区内のこども支援に取り組む様々な主体の連携協働のもとで、様々な子育て支援や相談に関する活動が展開されることで、未来の担い手であるすべての子どもが、誰一人取りこぼされことなく、支援が必要な場合に必要な支援を受けられる状態

計
画

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- 妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の各ステージに応じて切れ目なく子育てをサポートするとともに、課題を抱える家庭や子どもへの支援などを行う。
- 子育ての悩みをみんなで相談しあったり、子育てに関する有益な情報が確実で簡単に入手できる環境の整備を進める。

- 令和11年度末までに、区役所がSNS、広報紙等で子育てに関する情報発信を行う回数 年間100回以上

- 年間を通じて重大虐待事案が発生しない状態の継続

経営課題1 子どもたちの未来のために

【具体的取組1-1-1】

支援が必要な児童、生徒への取組

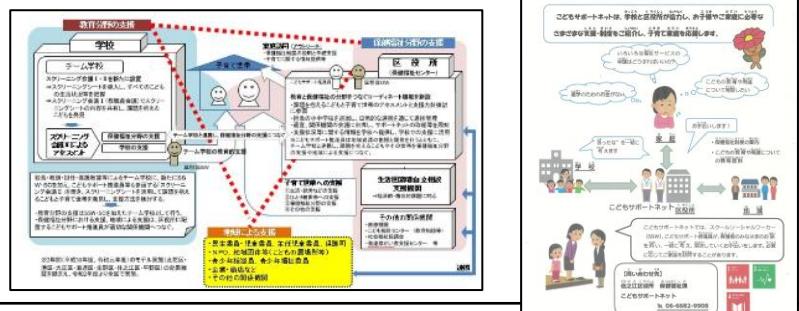
計画	取組内容	指標
	学校等と連携し、支援の必要な児童を発見とともに、児童や保護者の状況や悩みを傾聴し、地域による子ども支援の取組や、児童支援に取り組むNPOなど民間の取組を含めた利用可能な支援を提案し、児童や保護者のニーズに合わせて利用に向けたサポートを行う。	こどもサポートネットにおいて、区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合 75%以上
方向性の確認	取組実績等 －9月末時点－	進捗状況：予定どおり
	<ul style="list-style-type: none"> ●学校・保育所・幼稚園等と連携し、児童や保護者の状況や悩みを傾聴し、児童や保護者のニーズに合わせて必要なサポートを関係機関と連携し継続して行っている。 ●サポートが必要なケース(こどもサポートネット対象者を含む)への対応数 484ケース(8月末時点) ●こどもサポートネットにおいて区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合 100%(8月末時点) 	
課題	方向性	
児童や保護者への支援について、保護者にサポートやサービスの提案を行うが、同意を得られず、利用につながらないケースがある。引き続き、民間資源やサービス等つなぎ先の充実と多様なサポートが必要である。	学校等関係機関との連携により、支援を要する児童等がとりこぼされることのないよう発見に努め、児童や保護者のニーズを把握し、引き続きNPO法人等の関係機関との連携を図る。	

クローズアップ －取組の解説－

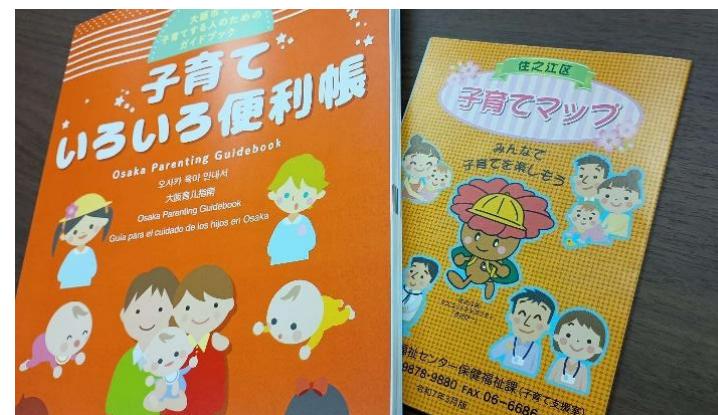
■こどもサポートネット

学校における気づきを区役所や地域につなぎ、社会全体で支える仕組み

支援の必要な子どもや世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、社会全体で子どもと子育て世帯を各種施策により総合的に支援する取組です。



計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児健診や、地域担当保健師・子育て支援室等による相談対応、保育所(園)・幼稚園等との連携、4歳児を対象とした訪問等を通じて、妊娠期から就学に至るまでの間、切れ目なく子どもの状況を把握するとともに必要な支援を行う。 ●特に2歳児を養育する保護者にハガキを送付し、子育てに関する困りごとで相談・連絡があつた保護者に対して家庭訪問を行うなど個々に応じた必要な支援につなげる。また、「手続きケアプラン」を母子健康手帳交付時に配布し、妊娠期から就学前までに最低限必要な手続きや相談先の情報を時系列にわかるように支援を行う。 ●子ども・子育てプラザをはじめ区内の子育てに関わる各種機関と連携し、子育てマップ(年1回)や子育て情報紙「わいわい」(年12回)を発行するとともに、子育て層がアクセスしやすいよう、HPやSNS、デジタルマップなどICTを用いて、子育てに関する有益かつタイムリーな情報発信を推進する。 ●区役所子育て支援室において、保育士・保健師・家庭児童相談員による子育て相談を継続する。 ●全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携して、切れ目のない一体的な相談支援を行うことを目的として、令和6年4月に設置された「こども家庭センター」を円滑に運営する。 	<p>子育て世帯保護者アンケートで「子育ての相談先を知っている」と回答する割合 40%以上</p>



取組実績等 －9月末時点－

- 妊娠婦、乳幼児健診(3か月・1歳6か月・3歳)、支援対象者へのサポートプランの作成及び交付、4歳児を対象とした訪問など、妊娠期から就学まで切れ目なく子どもの見守りを行うとともに、地域担当の保健師・子育て支援室等による相談対応等を行い必要な支援を実施
- 2歳児を養育する保護者へ6・9・12・3月の4回に分けてハガキを発送(予定) 153通送付、14件相談対応(8月末現在)
- 妊娠期から就学前までの最低限必要な手続きや相談先などを掲載した「手続きケアプラン」を母子健康手帳交付時に配布 331件(9月16日現在)
- 子育て世帯に子育ての情報が届くよう二次元コードを掲載したチラシを、助産師、保健師等の新生児全戸訪問で配付 218件配付(8月末現在)
- 子育て情報紙「わいわい」(月1回)を発行するとともに子育てサロンの情報など区ホームページやSNSを通じて情報を発信
- 区広報紙「さざんか」6月号に、妊娠期から就学までの子育てを切れ目なくサポートできるよう、子育てに関する情報や悩み相談の相談先を掲載。同9月号に保育施設等の利用申込みとオンラインによる受付予約に関する情報とともに、スマートフォン等から簡単に適宜情報が入手できる、子育て情報満載の「すみのえ 子育て博覧会」などの二次元コードを掲載。

進捗状況：予定どおり

方向性の確認

課題

子育てに関する情報が入手しやすくなる、より効果的な手法を検討する必要がある。また、子育て情報を発信するとともに、誰もが相談できるよう取り組みを進める必要がある。

方向性

子育て情報をホームページやSNSを通じて、引き続き継続的に発信するとともに、子育てに関する困りごとや悩みについて、気軽に相談できるよう子育て応援イベントなどの多様な機会を捉え、子育て世帯に情報が届くよう効果的に情報を発信する。

クローズアップ —取組の解説—

■情報発信

住之江区の子育て情報をいろいろまとめた「すみのえこそだて博覧会」を区ホームページに掲載。「こそだて」「にんしん」「けんこう」「おでかけ」「そうだん」「あずける」に分類し、子育て層により見ていただけるよう工夫また、広報紙でも、子育てに関する有益かつタイムリーな情報を掲載しています。



【令和7～11年度の5年間】

社会が多様化する中で、子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態

計

画

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- 地域や民間との連携のもと、誰もが安心して勉強ができる環境の充実を図り、学習を楽しむ体験をすることで、学習意欲が向上するよう促す。
- 知識だけでなく、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養い、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちとやり抜く力を育む。

令和11年度末までに、全国学力・学習状況調査等のアンケート結果で区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合 70%以上

経営課題1 子どもたちの未来のために

【具体的取組1-2-1】

児童、生徒の学力向上に向けた取組

計画	取組内容	指標
	<p>＜基礎学力アップ事業＞ 放課後の学校施設を利用し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業(基礎学力アップ事業)を週2回程度行う。加賀屋塾(加賀屋中学校)、南港塾(南港南中学校)、真住塾(真住中学校)、住一塾(住吉第一中学校)、安立塾(安立小学校)、学びひろば住吉川(住吉川小学校)、住之江塾(住之江小学校)、ひら子塾(平林小学校)、新北島塾(新北島小学校)、みなみ塾(南港みなみ小学校)において実施する。</p> <p>＜放課後学習チャレンジ教室事業＞ こどもサポートネット事業の対象となる児童などに、学校やスクールソーシャルワーカー、福祉関係者等と連携し、それぞれの理解度や特性に合わせた少人数体制での学習支援を小学校施設で行う。</p>	対象児童・生徒に対するアンケート調査において、「この事業に参加してよかったです」という問い合わせに対し、肯定的な回答の割合70%以上

取組実績等 －9月末時点－

方向性の確認	<p>＜基礎学力アップ事業＞(8月末時点) ● 小学校: 安立塾35回、学びひろば住吉川36回、住之江塾35回、ひら子塾0回(申込無)、新北島塾19回、みなみ塾33回 各回1~15名程度参加 中学校: 住一塾38回、加賀屋塾37回、南港塾37回、真住塾36回 各回5~25名程度参加 計306回実施</p> <p>＜放課後学習チャレンジ教室事業＞(8月末時点) ● 小学校6校にて学習支援を実施、1校調整中</p>	進捗状況：予定どおり
--------	---	------------

課題	方向性
基礎学力アップ事業について、参加者数の増加に向けさらなる周知の必要がある。	参加者数の増加につながるような効果的な周知方法等を検討し、さらなる学校及び事業者との連携強化に努める。

クローズアップ －取組の解説－

- 民間団体や企業との連携による学習支援・学習指導を実施しています
- 区内小学5・6年生と中学生を対象とした「基礎学力アップ事業」は事業者と区が協定を締結し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用して受講できる塾を区内小学校6か所、中学校4か所で運営しています。
- 区内小学生を対象とした「放課後学習チャレンジ教室事業」は、事業者と区や学校が協力し、児童の状況に合せた少人数制の学習支援を行っています。

基礎学力アップ事業の様子



【具体的取組1-2-2】

経営課題1 子どもたちの未来のために

チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

計画	取組内容	指標			
	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育の一環として、小中学生を対象に、プログラミング的思考(論理的思考力)を育むことで思考力・課題解決力・判断力・表現力等の資質・能力の育成をめざすプログラミング教育を題材とした体験学習を開催する。 ●将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちを育み、子どもたちがこれからの社会を「生き抜く力」を身につける機会を創出する。 ●楽しく遊び感覚で運動に取り組むことで幼少期から運動習慣を身に着ける機会提供する。 	体験学習に参加する児童・生徒対象のアンケートにおいて、プログラミングへの関心や体験学習の理解度について肯定的な回答の割合70%以上			
	取組実績等 一9月末時点一				
方向性の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●すみのえ未来塾 募集型 12月実施予定(舞昆ホール) 出張型 11月実施予定(敷津浦小、南港光小) 2月実施予定(加賀屋中、真住中) ●すみのえ運動遊びプログラム(粉浜幼稚園) 5/30、6/10事前検証 6/19事業者による実践指導(21名参加) 7/4プレイリーダーによる実践指導 				
	進捗状況：予定どおり <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #005a99; color: white; padding: 5px;">課題</th> <th style="background-color: #005a99; color: white; padding: 5px;">方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 10px;">プログラミング学習を前面に打ち出し、一定の参加実績はあったが、より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。</td> <td style="padding: 10px;">学校の授業の一環としても実施できないか、学校や事業者など関係先との連携を図りながら検討していく。</td> </tr> </tbody> </table>		課題	方向性	プログラミング学習を前面に打ち出し、一定の参加実績はあったが、より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。
課題	方向性				
プログラミング学習を前面に打ち出し、一定の参加実績はあったが、より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。	学校の授業の一環としても実施できないか、学校や事業者など関係先との連携を図りながら検討していく。				

クローズアップ ー取組の解説ー

■キャリア教育

- 「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。
- 住之江区では、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むための体験を得る機会を創出していきたいと考えています。

キャリア教育事業の様子

